

2024年度野球規則改正の要点解説

日本高等学校野球連盟
審判規則委員会

注: () 内数字は今回改正された9項目の符号

(1) 2.01を次のように改めた。

- ① 本塁からバックストップ、塁線からファウルグラウンドにあるフェンス、スタンドまたはプレイの妨げになる施設までの距離について、「必要とする」から「推奨する」に改められた。
- ② 内野の境目となるグラスラインの距離について追記された。また、我が国では適用しないため【注】が追加された。
- ③ メジャーリーグの規則が記されていて、また本文にも両翼、中堅までの距離について優先して望まれると記載されていることから、【付記】が削除された。

(2) 2.03を次のように改めた

ベースの大きさが15インチ(38.1センチ)平方から18インチ(45.7センチ)平方に変更された。ただし、我が国では従来通り15インチ(38.1センチ)平方とするため、【注】が追加された。

(3) 2.05について、ベースラインからベンチまでの距離が実態と合っていないことから、ベンチを設けることの規定のみを残し、距離に関する部分が削除された。

(4) 3.02(a)【注3】、【軟式注】について、高校野球において金属バットが新基準の規定となることに伴い、この規定を採用する団体がなくなるため削除された。

(5) 5.02(c)を次のように改めた

内野手の守備位置の制限について記載された。現行の【注】を【注1】に変更され、その後に本文、【原注】およびペナルティが追加された。また、我が国では内野手の守備位置の制限に関する内容については適用しないため、【注2】が追加された。

(6) 5.10(k)後段を改めた。

試合中にベンチやブルペンに入ることを許された者は、許される理由以外で、競技場に出ることはできない旨の表現に変更された。また、内容そのものについての変更はない。

(7) 7. 0 1 (b) を次のように改めた。

見出しを「延長回」と変更し、本文を同(1)、現行の(1)、(2)を(A)(B)に変更するとともに、(2) 10 回以降無死二塁から開始する延長回の方式について(A)(B)(C)(D)が追記された。また、我が国では既に各団体において実施されていることから、【注】が追記された。
なお、高校野球では、従来通りに実施され変更はない。

(8) 8. 0 4 (a) を次のように改めた

審判員の報告義務において、処分の通知方法、対応期限の日数や時間について削除された。また「リーグ会長」の表記を「リーグ事務局」に改められた。

(9) 定義4 6 について、「リーグプレジデント」(リーグ会長)の表記がOBRにおいて、昨年から抹消されていることから削除された。
また、規則書における該当部分については「リーグ事務局」に改める。

以 上